



ページをめくると、町の思い出が広がっていた。

特集

## 広報紙800号を振り返る

創刊から75年。「比布時報」「時報ぴっぷ」「広報ぴっぷ」と形を変えながら発行を続けてきた、町の広報紙。まちの「今」を届け続けたその歴史を、振り返ります。

通算800号を  
迎えて

「広報ぴっぷ」は、昭和24年6月1日に創刊し、今月号で通算800号を迎えました。

町民の皆さんに支えていただきたながら、こうして記念号を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げます。

本紙はこれまで、町政や暮らしに関わる情報、行事やイベントの告知などを、正確かつ分かりやすくお伝えするための手段として、発行してきました。

一方で、インターネットやSNSの普及により、パソコンやスマートフォンを通じて素早く情報が手に入る時代になりました。

それでもなお、毎月届く紙の広報紙を必要としている方は、多くいらっしゃいます。

今後も「広報ぴっぷ」は、大切な情報を届けてまいります。

## さまざまな変化を してきました

「比布時報」という名称で創刊された広報紙は、75年の歴史の中で、読者に親しまれるよう、さまざまな変化をしてきました。

180号（昭和46年4月発行）で名称を「時報ぴっぷ」に変更し、367号（昭和43年1月1日）で現在の「広報ぴっぷ」へと改称されました。

当初は公民館が発行元となっており、役場が発行するようになったのは23号（昭和26年4月発行）から。有線放送の発足により専任の担当者が不足したため、発行が途絶える時期もありましたが、235号（昭和53年4月発行）からは毎月の定期発行になりました。

町が発展していくにつれ、お知らせする情報の量も増えたことから、379号（平成2年4月発行）からは2色刷りを導入し、見出しやポイントに色を使うことで、より読みやすい紙面になりました。

また、初めてカラー印刷の表紙が登場したのは213号（昭和50年1月発行）。以降、新年号のカラー表紙が恒例となりました。

## 「いつでも、どこでも」 読めます

皆さんのお手元に毎月届く「広報ぴっぷ」は、図書館などで手に取ってご覧いただけるほか、パソコンやスマートフォンを通じて、デジタル版としてもご覧いただけます。

町では、LINE、フェイスブック、Xなどの公式SNSを通じて、広報紙や町からのお知らせを日々配信しています。

お手持ちのスマートフォンやタブレットから、場所を問わず気軽に読むことができます、デジタル版もおおすすめです。

移動中や外出先でも必要な情報をすぐに確認できることで、「いつでも、どこでも」読める広報紙となっています。

## さまざまな方法で「広報ぴっぷ」をご覧ください

### 冊子版



行政区長さんや班長さんを通じて、毎月、各家庭に届けられます。役場正面玄関、農村環境改善センターロビー、比布駅にも設置していますので、自由にお持ち帰りいただけます。図書館では、創刊号からのバックナンバーを用意しています（若干の欠番あり）。

### デジタル版

#### 【ホームページ】

比布町公式ホームページでは、過去10年分のバックナンバーを掲載しています。いつでも読み返すことができ、調べものにも便利です。最新号の折込チラシもご覧いただけます。

ホームページ



広報ぴっぷ 検索

#### 【SNS】

町の公式SNSでは、最新号の発行日にホームページへのリンクを掲載し、お知らせしています。Facebook版「まちある・記・フォトニュース」では、紙面に掲載できなかった行事・写真も数多く掲載しています。ぜひフォローしてご覧ください。

Facebook

X

まちある・記・  
フォトニュース  
Facebook版



#### 【LINE】

町の公式LINEアカウントでは、メニュー画面から最新号にアクセスできます。その他、「今月の折込チラシ」「今月の町民カレンダー＆ごみの分別表」も掲載しています。

LINE



ブックマーク or フォロー or 友達登録をして、町の最新情報をいつでも手元に！

●創刊号

(昭和24年6月1日発行)  
編集／比布村公民館



新聞紙のような紙面構成で、B4版1枚の両面印刷でした。公民館長の発刊のことも掲載。役場にも1部しか保管されていない貴重な資料です。▶当時人口＝8,040人

●93号

(昭和35年4月20日発行)  
編集／比布村役場



B5版モノクロ印刷の冊子に変更。表紙には村議会定例会の様子が、紙面には町政執行方針や議会内容、予算のあらましが詳しく掲載されました。▶当時人口＝8,506人

●263号

(昭和55年8月発行)  
編集／役場企画課広報係



次第に、写真を多く使った紙面構成へと変化。当時の行事・イベントの様子がたびたび登場しました。表紙は、テレビCM効果でにぎわう比布駅を掲載。▶当時人口＝5,013人

●424号

(平成6年1月発行)  
編集／役場企画課広報係



表紙には、「輝く百年、伸びゆく郷土に新たな決意」という言葉とともに町百年記念ポスターを掲載。前年12月に起きたクマ騒動についても紹介。▶当時人口＝4,799人

●500号別冊

(平成12年5月2日発行)  
編集／役場企画課広報係



別冊を発行。創刊以降の町の出来事を、過去の紙面と写真とともに振り返る内容でした。表紙は、129号(昭和41年4月発行)の表紙写真を使用。▶当時人口＝4,724人

●600号

(平成20年9月3日発行)  
編集／役場総務企画課広報係



500号以降の町の出来事や「広報紙が各家庭に届くまで」を特集。インターネットが普及し、ホームページでデジタル版も公開するようになりました。▶当時人口＝4,315人

皆さんとつくる  
大切な広報紙

過去の広報紙をめくってみると、その時々町の動きが見え、写真からは当時の空気や音まで感じられるような気がします。

そして、いつの時代も人気なのは、町民の皆さんが登場するコーナー。皆さんの生き生きとした表情や思いを、熱量を保ったまま読者に伝えるため、一言一句悩みながら記事を書き、試行錯誤を重ねながら発行しています。

だからこそ、「今月も読んだよ!」「広報で知りました」と声を掛けていただけることが、何よりの原動力です。

読んでくださる皆さんが居て、取材に協力してくださる皆さんが居こそ、広報紙は続けてこられました。

「この町に住んで良かった」と皆さんに思っていただけよ、これからも町の魅力を写真と文字に込めて、お届けします。

あのコーナーはいつから？

## 広報ぴっぷ「人気コーナー」の変遷

●平成元年5月号（368号）

### 「まちある・記・フォトニュース」連載開始

町の出来事を写真とともに掲載。



●平成3年7月号（394号）

### 「わが家のアイドル」連載開始

各家庭から募集したお子さんの写真をコメント付きで掲載。

初回に掲載されたお子さんは  
なんと現在35歳！



●平成7年10月号（445号）

### 「情報満載」連載開始

暮らしに役立つさまざまな情報を掲載。



●平成16年4月号（547号）

### 「みんながヒーロー＆ヒロイン」連載開始

子どもから大人までの文化・スポーツ活動の入賞結果を掲載。



●平成23年6月号（633号）

### 「いちごっ子のメッセージ」開始

「夢～わたしが大人になったとき～」というテーマで、比布町の子ども（いちごっ子）たちの直筆メッセージを掲載。初年度は小学2年生、翌年度からは小学6年生が対象となった。

●平成25年1月号（652号）

### 「子どもたちの笑顔の表紙」開始

各家庭から募集したお子さんの笑顔の写真をカラーで掲載。



●平成28年1月号（688号）

### 「pipstar(ピップスター)」開始

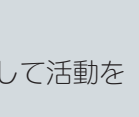
スポーツ・文化活動で活躍する高校生以下のお子さんを、広報担当が取材し紹介。



●平成29年12月号（711号）

### 「いい人見つけた」開始

町内に赴任した方、町で働く方、移住して活動を始めた方を、広報担当が取材し紹介。



現在までに通算45人！

●700号  
(平成28年12月28日発行)  
編集／役場総務企画課広報係



正月に家族と楽しめるよう、町の歴史をたどる特大すごろくが登場。卓球のメダリスト・平野早矢香さんが来町した「君の夢プロジェクト」も紹介。▶当時人口＝3,835人

●739号  
(令和2年4月1日発行)  
編集／役場総務企画課広報係



新型コロナウイルスがまん延した年。表紙には、感染対策を行い挙行された中学校卒業式の写真を使用。紙面でも、感染対策を呼びかけました。▶当時人口＝3,655人

●780号  
(令和5年9月6日発行)  
編集／役場総務企画課まち発信係



表紙のロゴや紙面のデザインを一新。デジタル版でも読みやすい横書きへ変更しました。表紙は、4年ぶりに開催された「納涼祭盆踊り」の様子。▶当時人口＝3,504人

皆さんの生活に役立ち、  
分かりやすく親しみやすい  
紙面を目指しますので、今  
後ともご愛読をお願いいた  
します。

